全国検数労連

第６９８号
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港福会館５階
Tel　03(3733)5621　　Fax　03(3733)5622
メール　　roren@knsu.jp
ホームページ　http://kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局

5月11日（水）15:30～17:00 第7回 検数労連22春闘交渉

両協会、修正回答提示せず。

組合は再度修正回答に向けた検討を求め１３日に交渉を設定し、追い上げをはかる！

5月11日（水）第7回検数労連22春闘交渉で組合は両協会に対し、修正回答の提示と諸要求の回答を求め交渉を行いました。

【日検協会】

賃上げ部分の回答について、前回の交渉で労組から不満を表明されたため、再度、検討を重ねてきたが、結果から言うとこれ以上の修正は困難である。

現状を見ると、損保業務は大きな収入源になっているものの、既存業務については大きくは下がっていないが低迷している。

新年度の速報値では、計画比・前年同期比ともにマイナスとなっており、4月からのスタートダッシュもしきれていない状況にある。

荷動きは活性化してきているとは思うが、まだ検数料金の収受までには反映していない状況である。

【全日検】

前回の交渉で労組から賃金回答に対して不満を表明され、今日まで内部検討を重ねてきた。

今春闘では日港協からの後押しも受け、全支部において検数料金の値上げ交渉を行っているところではあるが、どの業者もすぐには応じてくれる状況にないのが現状である。

このようなことから、現状では修正回答の提示は困難であり、労組には理解を求めたい。

【諸要求回答について】

今交渉では、22春闘諸要求に対する回答も両協会に求めましたが、両協会ともに従来の回答の域を超えるような回答内容ではありませんでした。

【組合主張】

組合は両協会から諸要求を含めた回答を受け取り、休憩を挟み内容を精査。このままでは収拾できないとし、次の点をまとめて主張しました。

【両協会に対して】

今交渉において金額修正が示されなかったことは、職場で奮闘している組合員の思いを理解する姿勢に立っていない。

65才定年制実施に向けた企業内労使協議については、両協会の統一対応として協議促進に向けた『労使確認書』の締結を強く求める。

コロナワクチン接種に伴う当日および翌日の『特別休暇』導入については、内部検討するよう強く求める。

22春闘は港湾産別として『魅力ある港湾労働環境整備に向けた政労使によるスタート元年』と位置付けており、両協会は料金収受に向けた政労使の取り組みをしっかりと受け止めるとともに職場で奮闘している組合員の切実な思いを受け止めた上で、あらためて修正回答を求める。

※次回交渉：5月13日（金）10時～

第8回　検数労連22春闘交渉。

両協会は、政労使での港湾労働環境整備の意味を真摯に受け止め、修正回答を提示せよ！